

令和6年度 静岡県公立高等学校入学者選抜

学力検査結果等の報告書

I	学力検査結果等の概況	・・・・・・・・	1
II	各教科及び作文の概況		
	国	語	・・・・・・・・ 5
	数	学	・・・・・・・・ 6
	英	語	・・・・・・・・ 7
	社	会	・・・・・・・・ 8
	理	科	・・・・・・・・ 9
	作	文	・・・・・・・・ 10

令和6年6月

静岡県教育委員会

I 学力検査結果等の概況

1 学力検査等の実施

一般選抜は、令和6年3月5日（火）及び3月6日（水）に、全日制の課程では90校（分校等も1校と数える。）、定時制の課程では19校（学年制15校、単位制4校）で実施した。学力検査は3月5日（火）に実施し、全日制の課程については、国語・数学・英語・社会・理科の5教科について行い、学年制による定時制の課程については、国語・数学・英語・社会・理科の5教科及び作文の中から、学校が必要な教科等を選択して行った。単位制による定時制の課程では、国語・数学・英語・社会・理科の5教科又は作文により実施した。

なお、一般選抜と同日に実施した特別選抜のうち、海外帰国生徒選抜は15校、長期欠席生徒選抜は2校、連携型選抜は3校、県外生徒特色選抜は2校において、一般選抜と同様に5教科の学力検査を実施した。外国人生徒選抜を実施した9校においては、日本語基礎力検査を実施した。

検査当日、病気その他やむを得ない理由によって検査を受けられなかった者に対する追検査は、3月11日（月）に実施した。さらに、再募集を3月21日（木）に実施し、全日制の課程並びに学年制及び単位制による定時制の課程において、作文又は小論文を学校が選択して行った。

この報告書においては、3月5日（火）に実施した学力検査及び作文について報告する。

2 検査教科と検査時間

表1

教科名		国語	数学	英語	社会	理科
実施時刻	開始	9:05	10:10	11:15	12:55	14:00
	終了	9:55	11:00	12:05	13:45	14:50
検査時間		50分	50分	50分	50分	50分

※ 定時制の課程において作文を実施した学校では、国語と同一の時間に実施した。

3 学力検査及び作文問題の出題方針

学力検査問題は、次の方針に基づいて出題した。

5教科の検査問題は、中学校までの学習内容を踏まえた、基礎的・基本的なものとし、各教科の目標に即して、知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度を広く検査できるように出題した。

また、作文問題については、受検者の身近な問題を題材として5つの作文題を示し、各実施校がこの中から2～3題を選んで出題し、受検者はその中から1題を選んだ。

4 学力検査及び作文受検者数（追検査受検者を含む。）

表 2

	令和 6 年度	令和 5 年度
全日制の課程	18,605 人	19,146 人
学年制による定時制の課程	315 人	305 人
単位制による定時制の課程	529 人	413 人
合 計	19,449 人	19,864 人

5 学力検査結果の教科別平均点、標準偏差及び得点分布

(1) 各教科の検査結果の平均点（50 点満点）及び標準偏差

表 3

	令和 6 年度		令和 5 年度	
	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差
国 語	33.81	7.26	33.55	7.63
数 学	24.16	8.88	26.15	8.89
英 語	30.26	10.96	27.25	11.33
社 会	27.19	9.91	30.33	9.30
理 科	25.64	10.88	25.64	9.73
実施校数	90 校		90 校	

※ 分校等を 1 校と数える。全日制の課程のみ。

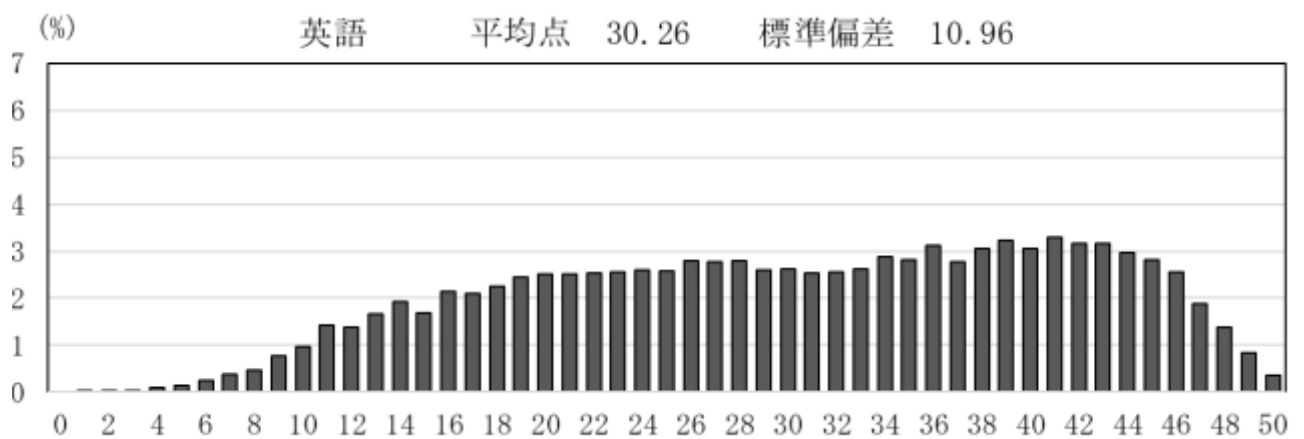
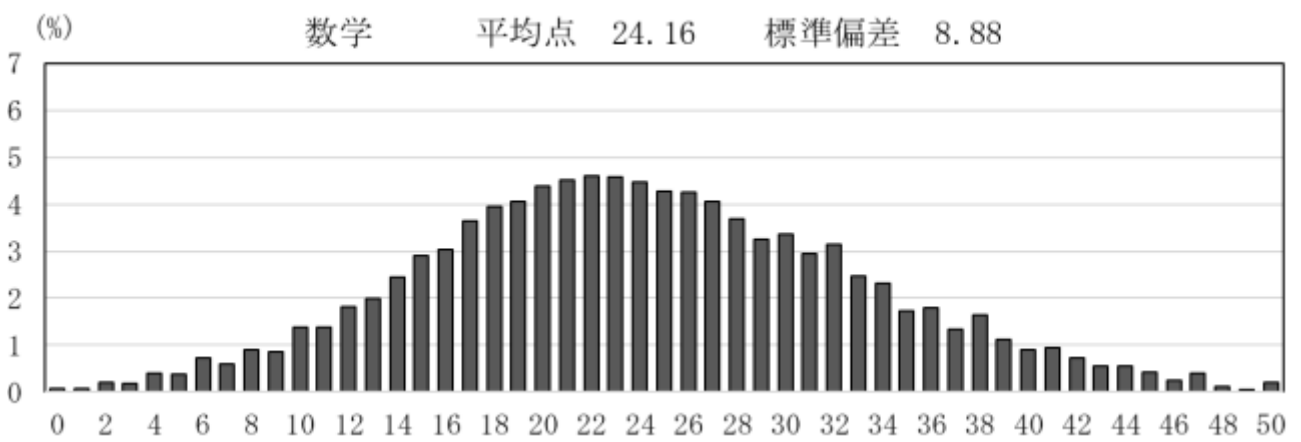
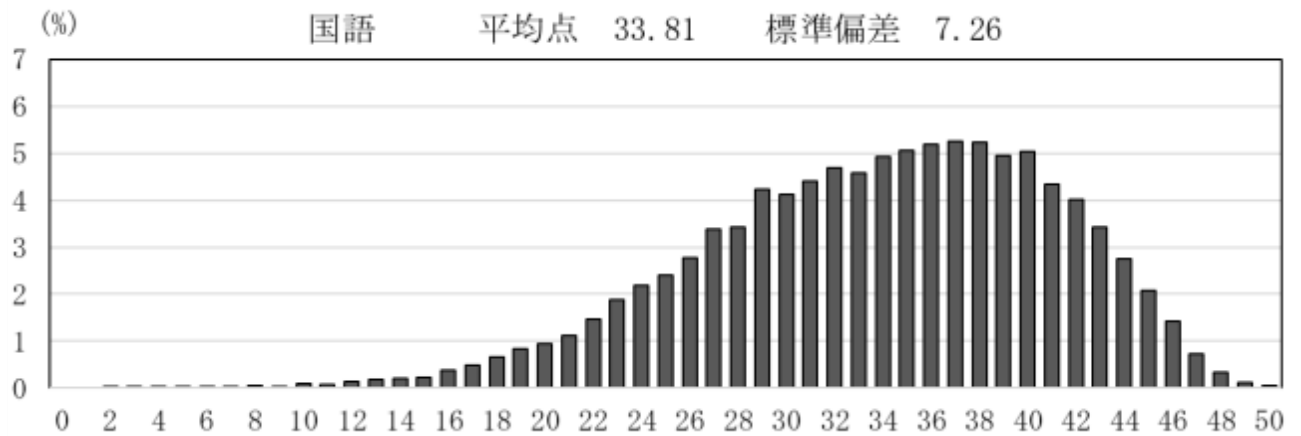
(2) 各教科の得点分布

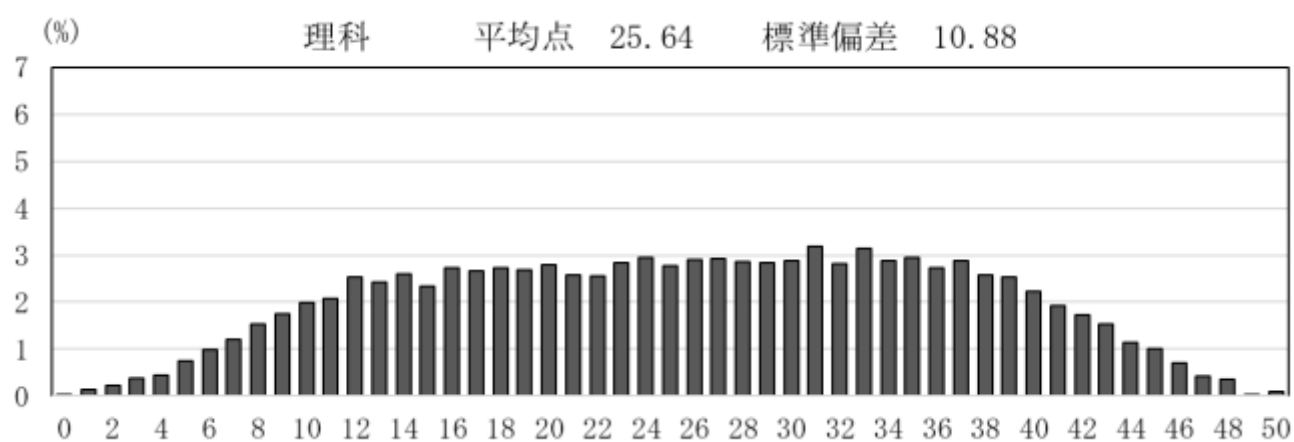
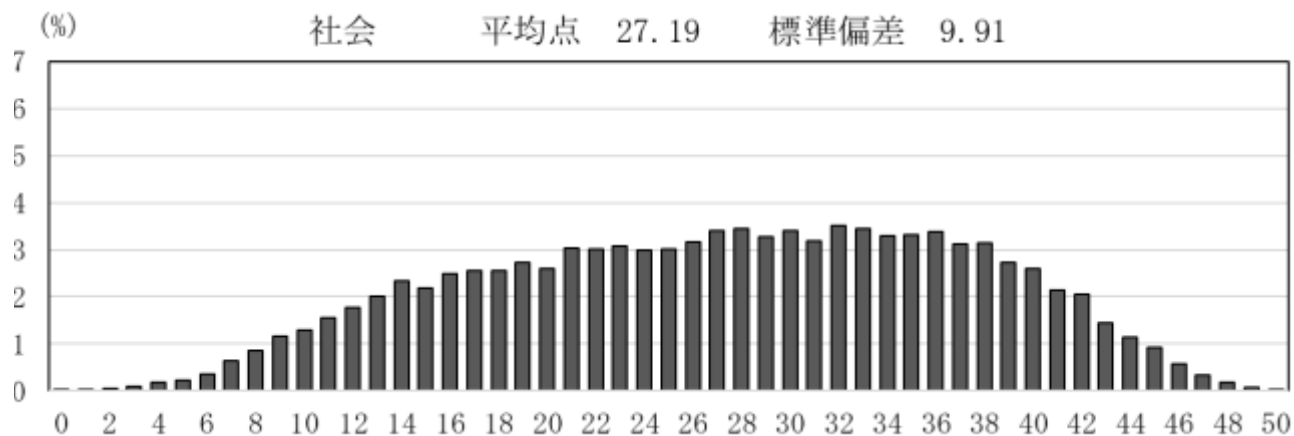
(%) 表 4

得 点	国 語		数 学		英 語		社 会		理 科	
0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1～5	0.1	0.1	1.2	1.1	0.3	1.2	0.6	0.3	1.9	0.9
6～10	0.3	0.3	4.5	2.0	2.8	6.6	4.3	1.9	7.5	5.3
11～15	0.8	1.2	10.5	7.3	8.1	11.3	9.8	4.9	12.0	10.9
16～20	3.3	3.8	19.1	18.1	11.4	12.6	12.9	9.3	13.6	14.8
21～25	9.0	9.7	22.4	21.1	12.8	12.4	15.1	13.6	13.7	17.3
26～30	17.9	18.2	18.6	18.0	13.6	13.6	16.7	17.5	14.4	17.9
31～35	23.7	23.4	12.6	15.4	13.4	14.1	16.8	19.3	15.0	15.6
36～40	25.7	23.2	6.8	11.2	15.2	14.0	15.0	18.5	13.0	10.8
41～45	16.6	16.5	3.2	5.1	15.4	10.6	7.7	12.1	7.3	5.3
46～49	2.6	3.5	0.8	0.7	6.7	3.5	1.2	2.5	1.5	1.2
50	0.0	0.1	0.2	0.1	0.3	0.2	0.0	0.0	0.1	0.1

※ 右列は令和 5 年度。全日制の課程のみ。

(3) 各教科の得点分布グラフ





6 各教科の小問別正答状況

全受検者の中から約 1/50 を抽出し、各教科の小問別正答状況を調査した。その結果は、「Ⅱ 各教科及び作文の概況」において示す。

国 語

1 出題のねらい

一では話の展開や登場人物の心情を、表現の仕方に注意して読み取ることができるかをみる。
 二では筆者の考えを文章の展開に即して的確に把握する力をみる。三では社会生活に必要な、言葉によって伝え合う力をみる。四では平易な古文を読んで、話の内容をとらえることができるかをみる。五では自分の考えを文章で適切に表現する力をみる。

2 解答の状況

設問番号	解 答 の 特 徴 と 誤 答 例		正答率
一	問一	㊤ 非常によくできている。	98.7
		㊦ よくできている。	78.1
	問二	よくできている。	80.4
	問三	灯子が島の灯台を見て悪い気がしなかった理由を的確にとらえることができている解答が目立つ。	64.2
	問四	誤答では、ウが多い。	59.0
	問五	よくできている。	90.7
	問六	灯子が胸がいっぱいになっている理由を、灯子が不安を募らせている心境をたとえた表現を含めて的確にとらえることができている不十分な解答が多い。	56.0
二	問一	㊤ 非常によくできている。	98.2
		㊦ よくできている。	90.7
		㊧ 非常によくできている。	96.9
		㊨ 非常によくできている。	94.8
	問二	誤答では、「アとウ」「ウとエ」がほぼ同数みられる。	66.8
	問三	よくできている。	81.6
問四	非常によくできている。	96.8	
問五	文章の展開に即して内容をとらえることができている不十分な解答が多い。	49.0	
問六	誤答では、アが多い。	10.3	
三	問一	適切な受け身の表現に直すことができている不十分な解答が多い。	52.6
	問二	よくできている。	71.9
	問三	よくできている。	90.3
	問四	非常によくできている。	96.4
	問五	メモの内容を踏まえた適切な言葉で表現することができている不十分な解答が多い。	61.1
四	問一	非常によくできている。	94.3
	問二	誤答では、「ウとエ」が多い。	50.5
	問三	亭主が茶入れに感じたことを的確にとらえることができている解答が多い。	58.4
	問四	小堀遠州の助言を的確にとらえることができている解答が多い。	46.1
五	自分の立場を明確にして意見を述べようとする姿勢がみられる。自分の意見の根拠は示されているが、説得力を持つ文章となっていないものが多い。		57.9

数 学

1 出題のねらい

1と2では数と式、図形及び確率に関する基礎的な力を、3では日常の事象を数学的にとらえる力を、4、5及び6では空間図形、データの分布及び関数についての理解の程度を、7では平面図形について論理的に考察する力を、それぞれみることにねらいを置いた。出題に当たっては、数学的活動を通して、事象を数学的にとらえ、表現し、考察処理する過程をみるができるようにした。

2 解答の状況

設問番号	解 答 の 特 徴 と 誤 答 例		正答率
1	(1)	ア 非常によくできている。	96.6
		イ 非常によくできている。	96.1
		ウ 非常によくできている。	94.3
		エ よくできている。	81.2
	(2)	よくできている。	77.3
	(3)	よくできている。	86.6
2	(1)	よくできている。	74.2
	(2)	誤答では、 $8n + 6$ などがみられる。	54.8
	(3)	よくできている。	75.3
3	数量関係の正しい立式ができていないものが多い。また、どのような数量を x や y で表しているのかを明記していないものも目立つ。		35.3
4	(1)	辺と面の平行について理解していないものが多い。	65.7
	(2)	誤答では、 $2\sqrt{10}$ が目立つ。	42.0
	(3)	正答率が低い。無答も多い。	5.7
5	(1)	累積相対度数を正しく理解していないものが多い。	67.0
	(2)	誤答では、 エ が目立つ。	66.5
6	(1)	誤答では、 $y = \frac{18}{x}$ などがみられる。	66.8
	(2)	ア 誤答では、 $4a \leq a \leq 36a$ や $3 \leq a \leq 9$ などがみられる。	46.8
		イ 正答率が低い。問題を解くのに必要な点の座標を正しく求められないための誤答が多い。無答も多い。	10.8
7	(1)	正答率が低い。証明の過程で、論理の飛躍しているものや説明の不十分なものが多い。無答も多い。	12.2
	(2)	正答率が低い。誤答では、71などがみられる。無答も多い。	2.6

英 語

1 出題のねらい

1では英文を聞いて、必要な情報や話の概要をとらえる力をみる。2では対話文を読んで、話の概要や要点をとらえる力と、自分の考えを英語で書く力をみる。3では相手に伝えるべき事柄を英語で書く力をみる。4では物語形式の英文を読んで、登場人物の行動や心情の変化、全体のあらすじをとらえる力をみる。

2 解答の状況

設問番号	解 答 の 特 徴 と 誤 答 例		正答率
1	(1)	A 非常によくできている。	90.7
		B 非常によくできている。	90.5
		C よくできている。	89.9
		D よくできている。	78.1
	(2)	1 誤答では、New Zealand が多い。	52.8
		2 誤答では、㉔を flower としたものが目立つ。	66.6
3 話の内容を的確にとらえていないための誤答が多い。		34.3	
2	(1)	㉑ 誤答では、イが多い。	64.2
		㉒ よくできている。	80.4
		㉓ 誤答では、ウが多い。	36.9
	(2)	A 非常によくできている。	94.3
		B よくできている。	79.1
		C 誤答では、イが多い。	68.3
	(3)	誤答では、ウオイアエがみられる。	48.7
	(4)	既習の語句や表現形式を用いて解答しているものが多い。	30.9
	(5)	①の誤答では、イが多い。②の誤答では、イ、ウ、エがほぼ同数みられる。	45.0
	(6)	会話の流れは踏まえているが、伝えたいことが的確に表現できていない不十分な解答が目立つ。	28.9
3	既習の語句や表現形式を用いて、伝えるべき内容を積極的に書こうとする姿勢がみられる。	40.7	
4	(1)	㉑ 誤答では、holded や holding が目立つ。	47.9
		㉒ よくできている。	75.5
	(2)	① よくできている。	84.5
		② 話の内容を的確にとらえていないための誤答が多い。	54.4
	(3)	誤答では、イが多い。	70.1
	(4)	話の内容はとらえているが、その内容を適切に記述することができていない解答が多い。	57.3
	(5)	よくできている。	76.5
	(6)	話の内容を的確にとらえていないための誤答が多い。	30.8
(7)	誤答では、エが多い。	48.5	

社 会

1 出題のねらい

1 では日本の歴史における政治や社会の特色、2 では自然環境や産業などからみた日本の特色、3 では国際社会の動向と特色、4 では国民生活と政治・経済とのかかわりについて、それぞれ出題した。出題に当たっては、社会的事象に対する関心と理解の程度をみるとともに、多様な資料に基づいて考察し、表現する力をみるようにした。

2 解答の状況

設問番号		解 答 の 特 徴 と 誤 答 例		正答率	
1	(1)	名称	よくできている。	80.9	
		記号	誤答では、アが多い。	64.7	
	(2)	表から考えられる税収が増加する理由を適切に記述していない解答が多い。		43.7	
	(3)	記号	よくできている。	84.5	
		㊸	誤答では、「平清盛」が多い。	42.5	
	(4)	政策を行ったねらいを適切に記述していない不十分な解答が多い。		62.1	
	(5)	a	誤答では、ア、イが多い。	54.6	
		b	誤答では、イ、ウが多い。	54.1	
	(6)	a	誤答では、「ア→ウ→イ」が多い。	48.6	
		b	誤答では、「大日本帝国憲法」などがみられる。	63.4	
(7)	記号の誤答では、アが多い。理由の誤答では、表から判断できる理由を適切に記述していない解答が多い。		49.2		
(8)	グラフから考えられる改革が行われた理由について適切に記述していない解答が多い。		43.4		
2	(1)	よくできている。		84.3	
	(2)	誤答では、ウが多い。		67.5	
	(3)	誤答では、イ、エが多い。		68.8	
	(4)	記号	よくできている。	74.0	
		県名	よくできている。	81.4	
	(5)	誤答では、アが多い。		68.6	
	(6)	a	米の国内消費量の変化について適切に記述していない不十分な解答が多い。		65.3
b		①	誤答では、「プランテーション農業」などがみられる。	70.4	
	②	グラフから考えられる経営上の問題点を適切に記述していない不十分な解答が多い。		50.3	
3	(1)	a	よくできている。	74.2	
		b	誤答では、「ユーラシア」が多い。	28.4	
	(2)	記号	誤答では、B が多い。	34.8	
		国名	誤答では、「インド」が多い。	32.0	
	(3)	a	パイプラインに見られる工夫を適切に記述していない解答が多い。	58.2	
		b	貨物の重量を増やすことができる理由を適切に記述していない解答が多い。	26.2	
4	(1)	a	誤答では、「利潤」などがみられる。	68.8	
		b	よくできている。	84.3	
	(2)	a	誤答では、「国際人権規約」などがみられる。		36.3
		b	動き	アジアとアフリカの加盟国数の増加に共通する理由となる動きを適切に記述していない解答が多い。	52.4
	記号		誤答では、アが多い。	43.8	
	(3)	a	誤答では、「条約」が目立つ。		62.6
		b	表とグラフを基に、地方議会議員選挙が無投票となることを防ぐ上での、表の取り組みを行うねらいを適切に記述することができていない不十分な解答が多い。		38.3

理 科

1 出題のねらい

1は基礎的・基本的な事項、2はいろいろな生物とその共通点、生物の体のつくりとはたらき及び自然と人間、3は身の回りの物質、化学変化と原子・分子及び科学技術と人間、4は地球と宇宙、5は気象とその変化、6は身近な物理現象及び運動とエネルギーに関する問題である。出題に当たっては、観察や実験に重点を置き、自然の事象について、知識や理解の程度及び科学的に考察する力をみるようにした。

2 解答の状況

設問番号	解 答 の 特 徴 と 誤 答 例		正答率
1	(1)	誤答では、「顕性形質」などがみられる。	69.6
	(2)	非常によくできている。	91.0
	(3)	非常によくできている。	86.6
	(4)	誤答では、「2」が目立つ。	50.8
2	(1)	① よくできている。	84.3
		② よくできている。	80.9
	(2)	誤答では、「ア、オ、キ」などがみられる。	28.1
	(3)	a 誤答では、オが目立つ。	72.4
		b 考えが正しいことを確かめるために変えることを適切に記述していない誤答が多い。	57.2
	(4)	② ブドウ糖、アミノ酸、脂肪がそれぞれ柔毛内部のどこに入るかを正しく理解していないための誤答が多い。	51.2
(4)	誤答では、「1600」などがみられる。	59.8	
3	(1)	① よくできている。	79.9
		② 誤答では、「 $X > B > Z > A > Y > C$ 」「 $X > C > Z > A > Y > B$ 」などがみられる。	39.9
	(2)	① 誤答では、「ア→ウ→イ」が多い。	19.1
		② 非常によくできている。	87.4
		③ 化学変化の前後で原子の種類と数が等しくなることを理解していないための誤答が多い。	55.3
		a 誤答では、「5.8」が目立つ。	44.1
(4)	b 混ぜ合わせた炭素の質量と反応せずに残った酸化銅の質量の関係を正しく理解していないための誤答が多い。	10.4	
4	(1)	① よくできている。	74.7
		② 誤答では、ア、ウが目立つ。	59.3
	(2)	誤答では、ウが多い。	27.8
5	(1)	① 閉そく前線を表す記号を正しく理解していないための誤答が多い。	48.2
		② 寒冷前線付近にできる雲の範囲がせまい理由を正しく理解していないための誤答が多い。	43.9
	(2)	① 非常によくできている。	87.9
		② 誤答では、イが多い。	40.7
6	(1)	① 誤答では、エが目立つ。	61.1
		② 誤答では、「2.4」などがみられる。	62.4
	(2)	誤答では、「㊦を1/4、㊧を4、㊨を1」が目立つ。	22.4
	(3)	① 誤答では、イが多い。	59.3
		② 誤答では、「7.5」が目立つ。	47.7
		③ 区間の誤答では、6が多い。理由では、図をもとにして台車が水平な床に到達したときの区間を正しく理解していないための誤答が多い。	21.1

作 文

1 作文題名の選択状況

作文の題名	選択した 学校数	選択者数	受検者数に対する 選択者数の割合
一 中学校生活の思い出	7 校	97 人	39.4 %
二 私が挑戦したいこと	11 校	126 人	51.2 %
三 私が関心を持っていること	7 校	12 人	4.9 %
四 印象に残っている人	1 校	1 人	0.4 %
五 学ぶことの楽しさ	3 校	6 人	2.4 %
その他（注）		4 人	1.6 %
計	実施した 学校数 13 校	受検者数 246 人	100 %

（注）題名未記入の者 2 人。指定外の題名で書いた者 2 人。

2 概 評

(1) 内 容

- ・「中学校生活の思い出」では、学校行事を題材にして書いたものが多かった。事実を羅列したものが目立つが、その経験を通して学んだことや、それを今後どのように生かしたいのかを述べたものもみられた。
- ・「私が挑戦したいこと」では、学校生活に対する意欲や将来の進路と結びつけた明るい内容が多かった。挑戦したいことの羅列や単なる夢にとどまるものもあったが、挑戦の理由を具体的に述べているものもみられた。
- ・「私が関心を持っていること」では、高校生活の目標をあげたものがみられた。社会問題を題材にしたものもみられた。
- ・「学ぶことの楽しさ」では、楽しさを知るための過程を述べたものがみられた。

(2) 表現・表記

- ・ひらがなの多用や誤字、脱字の多いものがみられる。
- ・原稿用紙の使い方、句読点の打ち方など、文章を書く上で基本となる事項を習得していないものが目立つ。
- ・書き言葉と話し言葉との区別、主述の呼応などに不適切なものがみられる。
- ・文章の構成や段落分けの意識がなく、思いつくままに文を書き連ねているものがみられる。